

平成 21 年度 第 4 回子育て・環境・魅力づくり部会

□開催日時 平成 21 年 7 月 17 日（金） 午後 1 時 30 分～3 時 30 分

□会 場 幸区役所プレハブ会議室

□参加委員

専門部会 B 委員：今井部会長、神谷副部会長、石野委員、酒井委員、佐藤委員、庄司委員、
沼田委員、松脇委員

事務局（企画課）：渡邊課長、高相課長補佐、小出主査、齊藤職員、小俣職員

□議 題 1 「地域コミュニティ活動の推進」について

2 その他

□開会

司会：渡邊課長

- ・渡邊課長が開会のあいさつをしました。
- ・会議の公開について、事務局から委員の了承を得ました。

進行：今井部会長

1 「地域コミュニティ活動の推進」について

配布資料 1「子育て・環境・魅力づくり部会 検討フロー図」に基づき、現状と課題について説明し、意見交換をしました。

（今井部会長） 地域コミュニティ活動の推進ということで、その拠点を夢見ヶ崎周辺にしていこうということになりましたが、何を中心に、どう拠点にしていくのかを議論していただきたいということです。人にスポットをあてるか、場所かということです。現状の下に、「コミュニティ活動の場」として、緑豊かな憩いの場として今でも使われていますし、イベントの会場、近所の人は体操に集まっていますし、今でもコミュニティ活動の場として自然に使われています。それをもっと広げていくことだと思います。そういう機会を増やしていくのか、場所、ハードの部分で注目してやっていくのか、大きく二つに分かれると思います。

（庄司委員） 私は両方かと思います。今ある資源をより磨いて良くして行きやすくすることも大事だし、そうなる方向に皆で話し合ったりイベントをするなどでコミュニティが図れる場所として活用できる、両方を切り離すのは難しいと思います。

（今井部会長） 相乗効果ですね。

（石野委員） 一番奥の公園が雑然としているので、もう少し整理すると公園が広くなり良いです。草が枯れたようになって雑然としています。座るような台がありますが、整理すると公園らしくなるでしょう。奥が公園として使える状態になっていけば、上がった人が奥まで行くでしょう。

（神谷副部会長） 滑り台があるけれど、遊ぶ人は少ないです。小動物や鳥のいるところまではそこそこ行きますが、滑り台で遊ぶのはあまりないです。唐突に滑り台がありますね。

（酒井委員） 滑り台は特殊な構造で、高学年は遊んでいます。

（石野委員） かなり邪魔になっています。もっとはじにあればいいです。

（今井部会長） ハードになるとお金がかかります。それだけの予算をとってやるには、コミュニティの場としてどういうことをやるのかなどをきちんと話し合っ、まとめて、こうだから、こうしたいからこうやるとしないと、お金を持って来れない行政の事情があるらしいです。その辺

をきちんとまとめていかないと、今皆さんがこうだねと言っていることが流れてしまいます。バスを通す、エレベーターを設置するというのはお金がかかることです。それを、ただあそこに人が集まるからやるというレベルでは、お金は持ってこれないということです。

(松脇委員) 話題提供です。まちづくり推進委員会でテーマを絞ろうとしています。コミュニティバスの実現、緑と水のコミュニティ活動の促進、観光協会との協働、異世代交流の促進の4つが上がっています。いずれも加瀬山を中心という思いは一緒です。コミュニティバスの推進では、今どういう状況になっていてどういう要件が満たされれば実現できるかをもっと掘り下げてみてはどうか。緑と水の実現も、川崎市の緑の重点地区があり、幸区では新川崎と鹿島田が候補です。どんなに探しても、新川崎と鹿島田にはもう緑はないです。そうすると加瀬山に緑と水を引いて水と緑の拠点にするなら、予算がつくでしょう。異世代の交流も、提案した方の話しは、動物園長を知っているので、動物園をもっとPRしたらどうかということでした。ここで上がった提案を、専門家に話を聞いてみる。コミュニティバスと言っても実現性があるのかないのか、川崎市の緑の重点地区になるとどんな利点があるのかなど、加瀬山を頭に入れながら進めていくと、少しはアイデアが出てくると思います。観光協会はどうか、予算がつけられるのかを聞きたいというまちづくり推進委員の話もあります。観光協会が加瀬山をどう見ていて、どうしたいのかアイデアがあるでしょうから、協働でやらないと立ち消えになると思います。

(神谷副部長) お金がからむことなので、きちんとしたコミュニティの拠点としてどういうメリットがあるかをがっちり示さないと、予算として難しいでしょう。日吉まつりをなぜパイオニアでやらないといけなくなったか、加瀬山に年輩の人が登れないからです。それで町会は手を引いたわけです。上ることがかなり大変なことなので、私たちだけではなく、他の力も必要だと思います。

(石野委員) 加瀬山は登るのが大変ということですね。

(酒井委員) 17町連がやっていました。一番大変なのは、踊り子です。70、80歳で上れません。中学生はなかなか入ってくれません。

(石野委員) 広場があっても魅力がないということですね。

(神谷副部長) イベントを企画しても集まらないのは問題ですね。

(今井部長) 河原町団地の人といろいろ話をすると、やはりアクセスが悪いから行けない、上まで上れないという話は聞きます。大事にしたい、行きたいという気持ちはあるんだけど、上るのが大変で行けない方がいるのは確かです。

(庄司委員) 飛鳥山公園にモノレールが運行するというニュースを見ました。25メートルほどの山で、史跡などもあります。北区がやっています。

(松脇委員) 工事費が安く、1億6千万円だそうです。勉強のために、どうやっているのか調べてもいいですね。

(庄司委員) 標高差は17メートル、山の高さが25メートルだそうです。加瀬山は30数メートルです。無料で乗車できて、片道2分で無人で運転ですが、管理人が常駐します。

(今井部長) 地域コミュニティの活動の場として話し合っていますが、加瀬山周辺は地域コミュニティの活動の場としての機能だけではないと思います。観光の場もあるじゃないですか。それをまちづくり推進委員会で話し合っているようですが、観光協会としてどう取組むのかを聞いてみたいですね。そちらと連携し、両方の力を合わせればクリアできることもあるかも知れま

せんね。

(佐藤委員) 観光協会のお金は寄付で集める程度で、何かをするときに協力しようということです。

(沼田委員) 観光協会では、お寺、神社など昔からある良いところを紹介します。行事を何もしていないので、寄付が集まらないです。夢見ヶ崎のことをやるので協力してくれと言えばどうにかなるかもしれないけれども、何億と金のかかるようなことはできません。バスを来年からやってくれと言えば、そのくらいはやれるかも知れませんが、山をどうにかしろと言うのは難しいです。

(松脇委員) 観光協会の上部団体は何ですか。

(今井部会長) 市でしょう。

(石野委員) 市には予算があるでしょう。

(神谷副部会長) 観光協会は別としても、市として観光の場所としてスポットをあてても良いですよ
ね。

(佐藤委員) 目を向けさせたくて今やっているわけです。コミュニティの拠点というと堅苦しいけれど、いかに人が集まるような、魅力ある場所にするかということです。行事をすることが主ではなく、いかに区民にとって魅力があり、行けるためにはどうするかということです。それによって、行事をし、団体があそこを使おうとなればいいです。

(庄司委員) 何かをやろうかということにつながればいいんですよ。

(神谷副部会長) 今はイベントを企画しても、人が集まらないのが現状ですよ。

(松脇委員) 勉強会をしてもいいし、視察に行ってもよいでしょう。

(神谷副部会長) エスカレータは上り下りの二本必要です。モノレールなら、ずっと回れます。

(石野委員) 歩道を走らせても良いでしょう。

(佐藤委員) 料金をとってもしっかりします。

(神谷副部会長) 以前、下を掘ってはいけないという話が出ていましたが、調査が終わっているので心配ないと聞きましたがそうなんですか。調査が終わっているのであれば、いろいろなことが考えられますね。

(酒井委員) 何かをやるにしても、いろいろなものが出てきます。同じものが出てきても、出るとうるさいです。北区は、採算が合うようなだけの収入があるんでしょう。

(松脇委員) 100円くらいとっても皆乗ると思います。

(神谷副部会長) バスでも100円くらいなら乗るでしょう。

(佐藤委員) バスは道路がダメなんです。民家を壊さないと、大きなバスは角が回れません。

(庄司委員) ミニバスで十分です。

(佐藤委員) 幼稚園のバスはマイクロバスより小さいです。

(沼田委員) 矢向駅から鶴見駅に向かうバスは小さいです。それなら上れるでしょう。Uターンする場所は広くしないとイケません。

(佐藤委員) 尻手黒川方面からは上がれます。

(松脇委員) 動物園の園長は、かなりの年間利用者数を言っていました。そうすると、100円でも維持費くらいはあるのではないのでしょうか。

(庄司委員) 自転車で来たり、歩いて行く人もいますが、少なくとも4分の1くらいは乗るでしょう。

(石野委員) どう登らせるかですね。

(沼田委員) 北側のゴルフ場がある方に車を止めるようになれば、あの道路ならモノレールは上がれ

ます。降りるときは交番の方に降りれば良いです。

(石野委員) やはりアクセスが問題ですね。

(今井部会長) バスが循環しても、祭りのときは渋滞して、すれ違いが困るという話があります。

(石野委員) 駐車場の問題ですね。

(沼田委員) 若い人が上って混雑するのは、花見の時期ですね。早い時間に行く人は、バスで交番の前で降りて上る人もいます。一般の人は裏から車で来ます。

(石野委員) 花見のときには、新川崎の操車場に駐車場を作りますね。

(庄司委員) 混む時期には車を乗せない。他のアクセスの方法を利用してもらう方がいいですね。駐車場を2階建てにして坂の途中からは入るようにするとかどうにかして増やせないのかと思いますね。

(松脇委員) 飛鳥山は加瀬山と比べるとたいしたことはないと思うんです。それでもこういうことをやっているわけですから、調べに行けばいいアイデアが出るのではないのでしょうか。動物園があるわけでもないですしね。

(庄司委員) 王子の桜は有名ですね。

(神谷副部会長) 桜の時期に歩いて行ければ、車で渋滞しないわけですよ。アクセスがあれば、車でなくても来る人たちがいますよね。モノレールで上がれば、ただでなくても、100円くらいは必要経費として取るべきだと思います。

(今井部会長) 見学に言って、お話を聞きましょうか。

(庄司委員) いいですね。何をポイントにするか皆さんの話を聞いていると、やはり加瀬山があるからですね。加瀬山は守りたい自然だし、緑だし、公園があり動物園があり、皆でそれを守り、育てることがコミュニティづくりにつながっていくと感じます。

(石野委員) ロータリーまでは公道でしょう。

(事務局) 公道と園内になります。途中まで公道が走っています。

(神谷副部会長) 公道ということは、川崎市の土地ですね。

(佐藤委員) 公道だから止められないんです。道路だから市がきちんと整備すればいいんです。交通を考える。バスだろうがモノレールだろうが、交通が必要だということで考えましょう。

(石野委員) どう登らせるかです。

(庄司委員) 今度、夢見ヶ崎の坂道を探検します。坂に3つ名前があることがわかりました。一つがおしみず坂、夢見ヶ崎町内会館のあるところがいわ坂、そして七曲です。他の坂の名前はわからないと言います。名前を付けてもいいですよ。どこに上り口があるかわからないし、案内図が必要だという話が前回出ていましたよね。上がり口がどこにあると看板があれば、もっと知られるし、活用されるし、いいなと思います。

(神谷副部会長) 標識は早い段階でできることだと思います。

(松脇委員) 名前があると良いですね。

(庄司委員) 募集するんです。そうすると知ってもらえるし、興味を持ってもらえます。郷土史家の人に頑張って、あるかないか調べてもらいましょう。

(佐藤委員) こんど、昔の映像を探すそうですね。

(事務局) 地域振興課で、昔の幸区の姿を残します。昔は社宅の周辺に山があったそうですね。

(庄司委員) 合同庁舎の方が山でした。新鶴見操車場の跡地を埋めるのに使いました。大事な遺跡はその時になくなったそうです。

- (佐藤委員) こういう話をもっと早くに出ていけば、出張所のマンションはできなかったんです。
- (庄司委員) 今大事にしようという声をあげないと、加瀬山はどんどんなくなりますね。
- (松脇委員) JRの社宅を地元のために譲ってもらって、駐車場などにしたいですね。
- (石井委員) 南加瀬アパートは古いですよ。
- (庄司委員) 公開空地として出すといいですね。
- (事務局) 公開空地はそのまま空き地にしないと、建蔽率の問題でいけないので、手をつけられませんか。
- (佐藤委員) 提供公園という方法もあるでしょう。
- (今井部会長) いずれにしても、今一生懸命守ってくれている人が高齢化して上がれなくなると、荒れ果ててしまいます。何とかしないと衰退しますよね。
- (酒井委員) われわれの会が加瀬山を守ろうとしていますが、今やっておけば歴史に残ります。今までは眼中になかったです。
- (今井部会長) 今のところ話をしたのは、コミュニティ活動の推進の場としてということですが、皆なで話し合っ、守っていくことがコミュニティ活動の推進だという意見が出ました。いろいろな人がコミュニティの場として使っていく魅力のある場にしていこうということです。そのためには、上まで上がる方策を考えないといけないということで、いろいろな話が出ています。
- (松脇委員) 北区に調べに行っ、こうなっていますというのを出すと、もっとアイデアが出てそんなものがあるのとなります。
- (佐藤委員) アクセス検討委員会とか、アクセス研究会を作っ、専門家に集まっ、といういいじゃないですか。
- (今井部会長) それを乗りたさに来る人もいたりします。
- (佐藤委員) 検討のグループを区民会議で提案して募集しましょう。これだけのメンバーではなく、一般の人でも関心があれば、もっと話が広がるでしょう。
- (松脇委員) PR効果もあるし、業者もいいアイデアがあるかもしれません。
- (石野委員) そういう場を設定するなら、観光協会が入らないといけないでしょう。
- (佐藤委員) 観光協会も入れればいいんです。
- (庄司委員) まちづくり推進委員会もね。
- (松脇委員) 皆でアイデアを出さないといけません。
- (神谷副部会長) 川崎市には東芝エレベータなど業者がありますね。いろいろな技術を持っているところがあります。
- (佐藤委員) 作ろうということを提案して、行政が募集をしてくれるでしょう。区民会議でそういうことを検討する会をつくろうという提案を出せばいいです。これはすぐできるでしょう。道路、坂の名前も募集するなり。
- (庄司委員) 委員会を作るのは賛成ですが、この区民会議とどういう関係になるのかです。話し合ったことをここに戻していくのか。その点を作る前に検討しておかないといけませんね。
- (佐藤委員) あくまでも区民会議がリーダーです。検討したことを区民会議にフィードバックしてもらえばいいです。
- (松脇委員) 議員もいるので広がると思います。区民会議の役割は大きいですし、PR効果もあります。

- (今井部会長) 本当は商業観光課などにも入ってもらいたいですね。もちろん、観光協会も。
- (沼田委員) 深瀬さんが観光協会の会長です。
- (佐藤委員) 観光協会を過大評価してもしようがないです。川崎市にはもともと観光はないんです。幸区には観光する場所がないんです。意見を聞くのはいいけれど、そこに何かを頼んでもね。
- (庄司委員) 参加してもらうのはいいでしょう。違う立場から意見を言ってもらうのは大きなことですよね。
- (今井部会長) 観光する場所がないではなく、ミュージアや夢見ヶ崎など、観光する場所をつくれればいいです。
- (庄司委員) 夢見ヶ崎検定の話も全体会で出ていました。
- (酒井委員) 江戸城の大田道灌もありますからね。
- (今井部会長) 川崎市に一つの動物園で、いろいろなところに載っているのに、あれほど放っておかれるのも珍しいですよ。
- (庄司委員) 紹介します。幸市民館の日吉分館のHPに郷土の歴史というコーナーがあり、夢見ヶ崎や加瀬山のことが詳しく載っているので、一度見てください。
- (神谷副部会長) 詳しい人たちが80歳代後半になっているので、ここで踏ん張らないといけません。
- (酒井委員) 生きているうちに、歴史を若い人に語り伝えて欲しいです。話を聞かないとわかりません。子どもたちに伝えれば残るでしょう。
- (沼田委員) 金毘羅さんなどにも年寄りが増えていきます。観光バスが止められる所があって、有名になれば、人は来るんです。
- (佐藤委員) 神社にご利益があれば登るんですが。
- (酒井委員) 熊野神社の元旦祭はすごいです。
- (石野委員) 魅力をプラスアルファしないといけないです。
- (佐藤委員) 道路はコルクのチップで作ると、エコが浸透して話題になります。ひとつひとつ魅力があると、全体として魅力が上がります。
- (庄司委員) そういうアイデアをみんなで持ち寄る。最初から何かがあるのではなく、皆で少しずつ加瀬山を良くしていきましょう。
- (松脇委員) 水辺があると違います。ちょっとした噴水やせせらぎがあると、涼しくなって潤いが出ます。
- (庄司委員) タウンニュースに、多摩川と矢上川の水族館をつくりたいと柗園長が書いていて、いいなと思いました。
- (神谷副部会長) 先日、イルカのしっぽを直すプロジェクトをテレビでやっていました。ペンギンの口ばしも、もっとアピールすると凄いなだとわかりますが、アピールがないのがもったいないです。
- (佐藤委員) ゆめみにゆーすはなぜ日吉地区の町内会だけなんですか。
- (事務局) カラーで出しているので200枚をまず作りましょう、その数が日吉分ということ。全部の地区にいくと、600~700枚ないと掲示板に貼れないので、まず、日吉地区の町内会にお話をさせていただきました。
- (今井部会長) 夢見ヶ崎の予算で200枚ですか。
- (事務局) そうです。

- (庄司委員) カラーでなくてもいいのではないですか。
- (事務局) 動物の色合いなどがあり、カラーに今はこだわっているようです。
- (佐藤委員) 動物園でなく、区民会議の金でやればいいでしょう。
- (事務局) 検討させてください。
- (神谷副部長) 夢見ヶ崎には予算がないのに、コピー代はかなりの金額だと思います。別のところから出さないと無理でしょう。
- (庄司委員) すぐできることからやるのがいいです。看板も。
- (佐藤委員) 新川崎に看板を作りましたね。あれはどこで立てたんですか。
- (松脇委員) まちづくり推進委員会が設置しました。
- (佐藤委員) 協働推進事業の中の予算でやればいいんです。宣伝して認知してもらわないと、パソコンを見る人はいいですがわかりません。幸区民には宝なので、最低でも情報を出せば関心を持ってもらえるでしょう。
- (今井部会長) 看板とゆめみにゆーすの印刷費くらいは、区民会議で守っていかうとなったので区が応援しますとなればできますよね。
- (佐藤委員) 区政推進費の予算を毎年決めるので、その中にこの予算を入れられるかどうかです。途中からは難しいでしょう。来年度の予算に入れればいいんです。
- (神谷副部長) ゆめみにゆーすくらいの予算ならどうにでもなるのではないですか。
- (今井部会長) 裏表印刷しても数万円ですよ。
- (佐藤委員) ゆめみにゆーすをして欲しいと提案が出ると、行政としてはどうするんですか。
- (事務局) 日吉地区までというのが、夢見ヶ崎動物園の考え方なんです。これを区内全域にという話であれば、もう一度夢見ヶ崎動物園と話をします。
- (佐藤委員) 動物公園は加瀬山の管理を任されています。その中で負担しろとなると、他を削らないといけません。区民会議で出ているのは、幸区全体として盛り上げようということですから、夢見ヶ崎公園の管理費だけでは賄いきれないでしょうから、予算を付けて欲しいという意見を出すわけです。財政でつけられるのかつけられないのか、幸区の問題なので区でつけろとなるのか、そういう手続きはどうなるんですか。
- (事務局) そういった話を内部的にしていかななくてはならないということです。環境局の施設で、環境局の名前で発行しています。区の名前と一緒に出せるのかななどを調整して、決めていかないといいません。
- (今井部会長) ゆめみにゆーすが環境局の名前で出ていて、そちらの予算で出しているのが行政の管轄の問題としてあるなら、別の形で夢見ヶ崎の魅力を発信するものを区の予算で発行するという手もありますよね。魅力を発信すればいいわけですから、これにこだわる必要はないです。
- (神谷副部長) それをやってくださいと区民会議が言えればいいですね。
- (佐藤委員) 幸区全部に拡大してほしいという要望ですね。
- (今井部会長) ゆめみにゆーすまたはそのようなものですね。

今までの意見を整理します。夢見ヶ崎を守り育てること自体が、コミュニティの推進になります。いろいろな人が集まれるような場所にしていく整備も必要であるということですね。それを検討するための、業者を含めた委員会を作って欲しいということと、ゆめみにゆーす、あるいはゆめみにゆーすのようなものを、区内全域に届く方策を考えて欲しいということですね。

(庄司委員) あと看板です。

(今井部会長) できることは、看板とニュースくらいでしょうか。簡単にすぐできそうなことは他に
ありますか。

(神谷副部会長) 中の整備です。もう少し見直しができるところを考えないといけないです。

(松脇委員) ボランティアの人たちのコミュニティをつくれればということですね。

(庄司委員) 公園としても、管理については考えると言っていました、活用の方は私たちが出しま
す。

(沼田委員) 歩道の凸凹したのは直すように言いましたか。

(事務局) 建設センターと話をします。インターロッキングだとどうしてもあぁなってしまう。

(沼田委員) 根っ子であぁなってしまうんですね。

(事務局) 砂の上にインターロッキングを置いているので、上がってくるとどうしても凸凹してしま
います。砂が水で流れても、凸凹してしまいます。見た目はいいんですが。

(酒井委員) 根が大事ですからね。

(事務局) 目指すべき方向では、地域で皆さんが集まる場として魅力をあげることで、観光や歴史を
踏まえた中で、守り育てていくことによって、大切な場所になるということです。今出ている
のは、解決に近いところだと思います。一つが、交通アクセスのための方策です。バスがいい
のかモノレールができるのがいいのか、その方法を模索する会を作っていく。その中には観光
協会などいろいろな団体が参加する。もうひとつは、ゆめみにゆーすがそのままいくのがいい
のか、改編するのがいいのかはありますが、夢見ヶ崎を紹介する、全区的に魅力を広報してい
くことが必要です。あとは、近づくための標識が足りないのではないか、公園の中をもう少し
きれいに、使いやすく遊んで楽しく思えるものをやらないといけないよねという話だったと思
います。

2 その他

(1) 8月31日(月)の全体会での部会報告について、事務局が資料2「子育て・環境・魅力づくり
部会の検討状況(報告)」をもとに説明しました。また、当日の報告者を、石野委員に決定しま
した。

(2) 次回の部会の日程については、事務局が後ほど各委員に調整することになりました。

以上